



仙台防災未来フォーラム2021 「東日本大震災から10年—よりよい未来のために」

●時間=10:00~17:00 ●会場=仙台国際センター展示棟



3月6日(土)

これまでの復興の取り組みについての評価や課題、次の10年に向けた取り組みの方向性について議論するシンポジウム「東日本大震災から10年 復興施策の評価と次の10年への展望」を開催します。

【プログラム】

時間	催し名	内容等
10:00~11:00	基調講演	東日本大震災や仙台・宮城を中心とした復興の歩みの振り返りなど ●講演者—復興庁事務次官・ゆき 由木文彦氏
11:20~12:30	テーマセッション① 「住まいとインフラの復興・復興」	沿岸部地域のインフラ復旧の取り組みとその成果、将来に向けた課題など
13:30~14:40	テーマセッション② 「伝承・経験を次の世代へ」	震災の経験の継承と防災の備え、未来へのメッセージなど
15:00~16:10	テーマセッション③ 「震災に学んだ災害対応地域から全国・世界へ」	東日本大震災から現在までの災害対応体制、新たな災害への対応など

●定員=各200人【先着】 ●直接会場へ

事前来場登録のお願い

新型コロナウイルス感染対策のため、ご来場いただいた方には、受付で氏名・電話番号等の記入をお願いします。事前に登録いただくとスムーズに入場できますので、事前来場登録フォーム (<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1607304019073>) にアクセスし、登録いただくようお願いします。



事前来場登録フォーム⇒

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、イベントの時間や内容等が変更、またはオンラインでの配信等になる可能性があります。詳しくは、仙台防災未来フォーラム2021ホームページをご覧ください。

3月7日(日)

【プログラムの一部】

■発表

時間	催し名等	主催者/問い合わせ先
10:00~11:30	基礎から学ぶ仙台防災枠組	防災環境都市・震災復興室 ☎214・8098
10:00~12:00	ESDフォーラム SDGs×防災×杜の都シンポジウム ●定員=96人(要申し込み)	政策企画課 ☎214・8475、仙台青年会議所
12:15~13:45	外国人住民と多文化防災—宮城・仙台における取り組み	仙台観光国際協会 ☎268・6260、宮城県国際化協会
13:25~13:55	〔出張版!〕おりはらアドバイザーの3分間防災ちゃんねる/ショウウちゃんと楽しく防災・減災を考えまショー!	減災推進課 ☎214・3109
13:30~14:15	次世代エネルギー研究開発をはじめとしたエネルギー自律型のまちづくり ●定員=76人(要申し込み)	防災環境都市・震災復興室 ☎214・8046
14:30~16:00	女性と防災まちづくり2021—誰もが暮らしやすい地域をつくる ●定員=48人(要申し込み)	エル・パーク仙台 ☎268・8300

●申し込み方法など、詳しくはお問い合わせください
●このほか、オンライン配信での発表もあります

■ブース・ポスター展示

地域・市民団体や教育機関、企業等、全55団体が防災等に関する情報を発信します。

■ステージショー

時間	内容等
11:45~12:15、15:15~15:45	阿部清人先生の「防災エンショー」(科学実験を通して防災について学ぶ講演) ●定員=各100人(各回の開始45分前から、展示室1・2で整理券を配布します)

■ワークショップ

時間	内容等
11:30~12:30、13:30~14:30、15:00~16:00	たぬき探偵ジェリーの「防災謎解きゲーム」(謎解きゲームを楽しみながら防災を学ぶことができるプログラム) ●定員=各24人(各回の開始45分前から、展示室1・2で整理券を配布します)

◆このほかのプログラムの情報など、詳しくは仙台防災未来フォーラム2021ホームページ (<https://sendai-resilience.jp/mirai-forum2021/>) をご覧ください。



震災の経験を未来へ

—「仙台防災未来フォーラム2021」を開催



全ての市民が防災の主役に

市では、東日本大震災の経験等を踏まえて、将来の災害や急激な気候変動などのリスクに備える「防災環境都市」づくりを進めています。

予期せぬ災害に備えるためには、インフラやかさ上げ道路等のハード面の整備だけでなく、子どもから高齢者まで、また性別や障害の有無にかかわらず、全ての市民が主体的に防災に関ることが大切です。これまで市では、震災遺構の公開やメモリアル施設の整備等を通して震災の記憶や教訓を発信するとともに、防災教育や地域・企業と連携した災害対応訓練などを行い、市民一人一人の防災力の向上を図ってきました。また、本年度は震災から10年に向けて、これまでの歩みを振り返るウェブサイトを「つなぐ おもい つながる」を新たに開設し、復興の記録や将来に残したいメッセージなどを発信しています。

復興の歩みを振り返り、防災について学ぶ2日間

3月6日・7日に、震災の経験を未来の防災につなげるため、市民が防災を学び、日頃の活動を発

ウェブサイト「つなぐ おもい つながる—東日本大震災から10年」

復興やまちづくりに関する活動などを、インタビューや映像・写真等で伝えています。詳しくは<https://sendai-resilience.jp/shinsai10/>をご覧ください。

信するイベント「仙台防災未来フォーラム2021」を開催します。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会場の座席数を制限するほか、オンラインでの発表も行います。7回目の開催となる今回のテーマは、「東日本大震災から10年—よりよい未来のために」。1日目は復興の取り組みや課題等を考えるシンポジウムを、2日目は各団体による発表や体験型プログラム等を実施します。これまでの復興の歩みを振り返るとともに、障害者、女性、外国人などさまざまな視点で、防災の取り組みや災害への備えなどを紹介します。

本イベント等を通して、震災で得た知見を未来に継承し、誰もが防災の担い手となる、災害に強いまちづくりを目指していきます。

この特集に関するお問い合わせは、防災環境都市・震災復興室 ☎214・8098、FAX214・8497